



くまもと  
アートポリス  
KUMAMOTO  
ARTPOLIS



かわらない日常、  
いつでも、  
どこにいても、

熊本地震被災者が撮影した日常の記録



# くまもとアートポリス みんなの家の 展覧会

2017.11.17 FRI - 2018.1.8 MON (休館日: 毎週火曜、年末年始 12.29-1.3)

熊本市現代美術館  
(ギャラリーⅢ・井手宣通記念ギャラリー)

入場無料

主催: 熊本県・くまもとアートポリス建築展2017実行委員会  
企画: クライン ダイサム アーキテクト

共催: 熊本市現代美術館 (熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団)  
協力: NPO法人 HOME-FOR-ALL

# くまもとアートポリス みんなの家の 展覧会

「くまもとアートポリス建築展2017」では、熊本地震に関連した展覧会を開催します。

熊本地震後、仮設住宅団地に人々が集い語らう集会施設として「みんなの家」を整備しました。本展覧会は、8歳から73歳までの仮設住宅入居者と、震災を経験した県内の高校生が自らカメラを持ち、「みんなの家」とともに過ごす日々の暮らしを記録した写真展です。14名のまなざしが捉えた熊本地震後の日常風景を、「みんなの家」をモチーフにした家型の展示空間の中でご覧いただけます。



## あなたが撮った日常の写真を展示しよう!!

あなたの「HOME 日常の写真」を募集しています。

熊本地震でたくさんの人が「家」をなくしました。  
それでも、かわらずやってくる明日。  
朝がきて、服を着替えて、学校や仕事に行く。  
やがて日が落ちて、お腹をすかせて「家」に帰る。

同じ「家」でもHOUSEとHOMEは大きく違います。  
HOUSEは建物。  
HOMEはふるさとや家庭や、心のよりどころ。

自転車の練習をする女の子。  
あくびをする猫。  
こどもから大人まで仲良く並んでいる洗濯物。  
被災地で撮影された写真には、  
たくさんのHOMEであふれています。



展示方法：ダンボールで作った「みんなの家」にいただいた写真を貼付け展示します

募集方法：メール、Instagramで写真を送付、もしくは現像した写真を持参下さい。詳しくは熊本県HPへ

熊本県HP：www.pref.kumamoto.jp/kiji\_21348.html

MAIL：kenchikuten2017@gmail.com

製作協力：熊本大学 田中智之研究室

お問い合わせ先 くまもとアートポリス建築展2017  
実行委員会事務局(熊本県建築課区) tel.096-333-2537



12/2  
(SAT)

### 展示会オープニングイベント

ペチャクチャイベント in 熊本「熊本のいま、そして」

仮設団地の入居者やその他ゲストが、20秒ずつ変わる20枚のスライドで、これまでの熊本、これからの熊本について笑いあり涙ありのさまざまなエピソードを披露するトークイベント。くまモンもあそびにきます!

日時：12/2(土) 14:00-16:00

会場：熊本市現代美術館(ホームギャラリー)

定員：100名(当日先着順/入場無料)

登壇者は決まり次第、熊本県HPで発表します。



© 2010熊本県くまモン



12/16  
(SAT)

### こども建築塾

こんな「みんなの家」あったらいいな

建築家アストリッド・クラインを講師に招き、熊本地震からの復興について、子供たちと考えるワークショップ。災害公営住宅の計画地を対象に、どんな「みんなの家」があったらいいか、子供たちと一緒に模型を作り、考えます。

日時：12/16(土) 11:00-16:30

会場：熊本市現代美術館(キッズファクトリー)

定員：20名(事前申し込み制・参加費無料)

対象：県内の小学4~6年生

申込締切：11月29日(水) 必着

申し込み詳細は熊本県HPをご覧ください



アストリッド・クライン  
(建築家)